様式３

会　　議　　録

会議名 （審議会等名）		平成２８年度第２回中央公民館運営協議会		
事務局 （担当課）		生涯学習部中央公民館（電話７５８－９０００）		
開催日時		平成２８年１０月２７日（木）午後７時～９時１０分		
開催場所		中央公民館　コミュニティ室		
出席者	委員	１８人（別紙のとおり）		
	事務局	３人（館長代理、任期付短時間勤務職員１人、活動推進員１人）		
公開の可否		■可　□不可　□一部不可	傍聴者数	５人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		１　開　会 ２　会長（公民館長）あいさつ ３　議　題 （１）公民館功労者表彰について （２）平成２８年度事業実施結果報告及び今後の事業予定について （３）視察研修会（案）について （４）その他 ・公民館の貸室利用に係る使用料導入に向けての取り組みについて ・次回運営協議会の日程について（３月） ４　閉　会		

協　議　経　過　　（1／4）

主な内容は次のとおり。（○は委員の発言、●は事務局又は市側の発言及び説明）

1　開　会

委員の過半数の出席があり会議の成立要件を満たしていること及び傍聴者が５名いることを報告し、午後７時開会。

2　会長あいさつ（公民館長）

●１０月１６日（日）に開催した「第５９回中央地区町民運動会」には3,300名の参加があり、地域の仲間づくり、絆づくりがある程度達成できたものと考えている。

●１１月１２日（土）・１３日（日）に開催予定の事業評価対象事業である「中央公民館まつり」にもご協力をいただきたい。

3　議　題

牛尾議長の進行により、始めに（４）その他「公民館の貸室利用に係る使用料導入に向けての取り組みについて」を協議することを了承していただき、事務局で説明し質疑応答を行った。

（４）その他

公民館の貸室利用に係る使用料導入に向けての取り組みについて、生涯学習課職員の資料に基づく説明後、質疑応答、意見交換を行った。

○使用料導入の時期はいつ頃か。

●現時点で時期は決定していない。使用料導入について９～１２月に各公民館運営協議会に説明し意見を伺い、それを踏まえ今後の進め方などについて検討したいと考えている。

○アンケート調査の結果を踏まえて見直しを行っているのか。

●一般市民、利用者、運営協議会関係者にそれぞれ伺っており、その中で、一般市民における「有料とすべき」と「利用の方法によって有料と無料を判断すべき」をあわせたものが、「無料とすべき」との回答を若干上回っており、これを踏まえて今回の提案をさせていただいている。

○平成２５年の社会教育委員の建議は、それまでの答申と異なり、有料化は「市において検討すべき」となっているが、これはどういう経過によるものなのか。

●社会教育委員の建議については、これまで公民館の使用料については、その活動が地域に還元されることを前提に無料とすることが望ましいとされていたが、その後、社会情勢の変化、基本方針の制定を踏まえ、市において検討すべきという方向になったものと推察している。

○市は使用料を導入する方針なのか。

●今回の提案については、公民館を利用する人、しない人との公平性を確保する観点から、また持続可能な公民館のあり方を模索した中で、基本方針に基づき提案しているもの。皆様に支えていただき、今後の公民館を維持していきたいと考えている。

○今回の提案は財政上の要請によるものなのか。また、大規模なインフラ整備に予算が割り当てられる一方で、市民にサービスが低下することを求めるのはいかがなものか。

●これまでの経過でもお話したように、相模原市としては、絶え間なく財政運営の適正化を探ってきており、その一環として基本方針も定められているものと考えている。財政状況として、相模原市は直ちに財政危機を迎えるような状況ではないが、今後人口減少が見込まれている中で、税収が増えないことを考えると、持続可能な公民館のあり方を探る上で必要な提案であると認識している。

○負担割合を判断する視点としての「私益性」とは何か。公民館における活動が「私益」とはどのような認識なのか。

●基本方針における負担割合を判断する視点では「私益性」となっているが、公民館の活動で、地域のために行っている活動は、「公益性」が高いものと承知している。公民館における活動の公益性に関する意見を頂き、これを踏まえたうえで、「公益性」が高いとなると、おのずとその反対で「私益性」は低くなるものと考えている。

○平成２５年度の社会教育委員会議からの建議において使用料導入の検討にあたり考慮すべき事項が示されているが、どのように反映するつもりか。また、平成２８年４月１日から使用料等の見直しを実施したものに公民館は含まれるのか。

●利用者数減少や地域住民が公民館を支える意識低下を招かないよう、負担割合の判断での考慮や減免規定を設けることで反映したいと考えている。また、使用料等の見直しを実施したものに公民館は含まれていない。

○負担割合はどのように考えているのか。料金は計算例が上限なのか。

●負担割合は、皆様のご意見を踏まえ、判断するものと考えており、計算例は維持管理にかかる費用の全額を負担する場合のものであり、これまでの意見を踏まえるとこの範囲の中で設定されるものと考えている。

○使用料を徴収することで、いわゆる不適正な利用は防げるのか。

●今回の提案は不適正な利用を防ぐためのものではないが、「ドタキャン」などを抑制する検討もする必要はあるものと考える。

○先日子ども会で富士見公園を利用した際、使用料は無料だったが、公民館事業で使用した際に、材料費を参加者から徴収したためか、有料というようになった。このように使用料の徴収の考え方が分かりにくくならないようにしてもらいたい。

○市は公民館でどのような団体が活動しており、そのうちどの団体を減免とすべきか全て把握しているのか。そうでないなら、減免団体は市で決め切れないのではないか。今後、誰が、どのように決定するのか。

●これまで伺った運営協議会では、市が責任を持って決めるべきとの意見も複数ある。どのように減免の対象となる団体を決めるにせよ、基本的にこうした意見交換の場で、関係のある団体等で公益的な活動をしている団体の活動状況等お伺いした上で、そのあり方を検討したいと考えている。

○今回の意見交換は１回で終わりなのか。

●すべての運営協議会に対してご意見を伺って、それを施策の検討に活かしたいと考えている。

○パブリックコメントは実施するのか。

●基本方針の策定時に実施しており、本件個別での実施は行わないが、公民館運営の中核である公民館運営協議会に対して意見を伺うようにしている。

○「さがみはらネットワークシステム」では、中央公民館を「拠点公民館」とする団体以外の予約申込も多く、希望する日時・部屋の利用が困難である。このような状況で「地域還元」の妥当な方法として使用料を徴収するのではなく、拠点館「サークル登録料」を徴収し、他館登録団体が利用する場合は、ビジター使用料としての「利用料」を徴収することを検討していただきたい。

○中学生以下の子どもの活動を減免対象としていただきたい。

○受益者負担導入が前提の説明・意見交換であるようだが、各公民館での意見を集約し、検討した結果を再度運営協議会にフィードバックしていただきたい。また、中央公民館で徴収した使用料は中央公民館へ還元していただきたい。

●何らかの形で検討結果をお知らせすることを考えている。また、公民館使用料は特定財源として全公民館の施設の運営に係る費用に充てることになる。

○運営協議会には再度来てもらいたいと考えている。再度意見交換の上、方向性を考えたいと思う。

（１）公民館功労者表彰について、資料に基づき説明し、承認された。

（２）平成２８年度事業実施結果報告及び今後の事業予定について、資料に基づき説明し、承認された。

（３）視察研修会（案）について、資料に基づき説明し、視察日は平成２９年２月１５日（水）に決定し、承認された。

○平成２９年１月に国会が解散されると国会議事堂は見学不可となるが、その対応策は。

●国会議事堂と国立天文台の双方を予約し、直近の状況で決定することとする。

（４）その他

次回の運営協議会は、平成２９年３月９日（木）午後７時から開催することとした。

中央公民館運営協議会委員出欠席名簿

No.	氏　　名	所　　属　　等	備考	出欠席
1	山田　光一	中央公民館	会長	出席
2	福田　　茂　　☆	富士見小学校		欠席
3	今井　　勉　　☆	中央中学校		出席
4	牛尾　良一	中央地区自治会連合会	議長	出席
5	小林　　満　　☆	中央地区自治会連合会	監事	出席
6	鳥海　千秋　　☆	中央地区自治会連合会		出席
7	金岡　秀宣　　☆	PTA（弥栄小学校）		欠席
8	布施　初子　　☆	PTA（中央中学校）		出席
9	斉藤　通正　　☆	中央地区老人クラブ連合会		出席
10	徳田　文夫	中央地区社会福祉協議会	副議長	出席
11	内山　妙子	中央地区民生委員児童委員協議会		出席
12	岡野　　博　　☆	中央地区青少年健全育成協議会	会計	出席
13	井上　博美	中央公民館利用団体協議会		出席
14	山下すず代	中央地区スポーツ推進委員		出席
15	小室　瑞希　　☆	中央地区青少年指導員		欠席
16	松田　正則	中央地区健康づくり普及員		欠席
17	岡本　和茂	中央公民館体育部		出席
18	太田　道子	中央公民館青少年部		出席
19	川成　晴美	中央公民館館報編集委員会		出席
20	倉澤　良明	中央公民館ホームページ編集委員会		出席
21	木口　　榮	学識経験者		出席
22	大畑　吉美	学識経験者		出席

☆印は、今年度新任又は変更の委員